

令和5年度 東京都立本所工科高等学校（定時制課程） 学校経営計画

東京都立本所工科高等学校長

中村 直樹

## 第1 目指す学校

### 1 教育目標

日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、人格の完成をめざし、機械、電気、電子の有能な技術者を育成することを目的として、次の事項の達成につとめる。

- ア 人権尊重の精神を養い、思いやりと社会貢献の精神をもった人材を育成する。
- イ 自ら学び、考え、主体的に判断できる力を養い、個性豊かで責任感のある人材を育成する。
- ウ 科学技術教育を通して、常に創意工夫への情熱をもち創造力あふれる人材を育成する。

### 2 スクール・ミッション

自ら学び、考え、主体的に判断できる力を養い、個性豊かで責任感のある人材、科学技術教育を通して、常に創意工夫への情熱を持ち創造力溢れる人材の育成を目指して、人づきあいの力、努力する力、考える力を育むことにより、社会の一員として自覚があり、様々な分野に高い探求心を持った工業人を育成します。

### 3 スクール・ポリシー

#### (1) グラデュエーション・ポリシー

「社会の一員としての自覚をもち、様々な分野に高い探求心をもって、ものづくりに貢献できる工業人」を育成します。そのために、次のような力を身に付けさせます。

- ア 人づきあいの力として、他人と協力し物事を成し遂げる力やルールやマナーを守り、社会の一員として行動ができる力を身に付けさせます。
- イ 努力する力として、物事に進んで取り組む力や他人に働きかけ巻き込む力及び目的を設定し確実に行動する力を身に付けさせます。
- ウ 考える力として、現状を分析し目的や課題を明らかにする力や問題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力及び新しい価値を生み出す力を身に付けさせます。

#### (2) カリキュラム・ポリシー

基礎的・基本的な学力の定着を図るための必修科目及び、様々な分野で高い探求心を身に付けるために必要な選択科目を設置します。工業（機械・電気・電子）に関する専門教科を座学だけでなく実習等の実技を通して協働的、実践的、体験的に学び、技術・技能の習得を段階的・計画的に行います。また、課題研究など協働型・問題解決型・探究型学習を通して物事に進んで取り組む力や問題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力を育成します。

#### (3) アドミッション・ポリシー

本校の教育方針を理解し、将来の目標に向かって、基礎的な学習内容や、社会で必要とされる知識・態度を身に付けようと努力する生徒。工業（機械、電気、電子）の学業に積極的に取り組み、ものづくりや資格取得などに目的意識を持って取り組む生徒や働きながら学ぶ意欲がある生徒。また、思いやりがあり、自らすすんで社会に貢献し、決められたルールや時間を守り、仲間と協力し合える生徒。これらのことについて入学後も積極的に取り組む意欲のある生徒を求めています。

## 第2 中期的目標と方策

- 1 少人数制の特色を活用したきめ細かな指導のもと、基礎学力の充実とものづくり技術力の向上を推進する。(学習指導)
- 2 学校行事や部活動等における自主的・自立的な活動を通して、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせる。(生活指導)
- 3 健康・安全教室等を通して、生命の尊さを自覚させ、災害や犯罪から身を守る姿勢を育成する。(安全教育)
- 4 キャリアガイダンス、インターンシップ等のキャリア教育を充実させ、自己実現に向けた資質・能力を育成する。(進路指導)
- 5 生徒一人ひとりの個性や能力に応じた教育活動を実践し、生徒自らに目標をもたせ、挑戦させ、自立するように支援する。(進路指導)
- 6 地域と共に実践する教育活動を通して、道徳性を養い人権尊重と思いやりをもった社会貢献の精神を育成する。(学校経営)
- 7 教育に対する強い使命感と責任感のもとに、教職員が一体となって組織的・計画的な教育活動を展開し、主体的・対話的で深い仕事の実現を目指す。(学校経営)

## 第3 今年度の取組み

### 1 学習指導

基礎学力を定着させ、ものづくりへの意欲や技術力の向上を目指す。

#### (1) 学習意欲の向上

- ア 主体的・対話的で深い学びの充実
- イ 観点別学習評価の活用による授業のさらなる活性化
- ウ 個に応じた少人数展開授業及び習熟度別展開授業の推進
- エ 資格取得の奨励
- オ 確認テストの実施など学習習慣定着のための工夫
- カ 図書館の活用、読書活動の推進
- キ Brush Up Program 期間や長期休業日中などにおける補習・講習の充実
- ク 外部連携を活用した課題解決型学習（PBL）の推進

#### (2) 授業満足度の向上

- ア 「分かる・できる喜びが味わえる授業」の実践
- イ 生徒個々の到達段階に応じた教材の工夫
- ウ 一人1台端末、ICT機器等のデジタル技術の有効活用
- エ すべての科目で授業評価アンケート活用による授業改善
- オ 校内研修、教科会、相互授業参観などの活性化

### 【数値目標】

すべての科目の授業評価アンケートにおいて、「もっと学習したくなる授業」：90%

すべての科目の授業評価アンケートにおいて、「課題や小テストを含め授業に対してしっかり準備をして、主体的に授業に臨んでいる」：90%

## 2 生活指導

基本的な生活習慣の確立、規律遵守及び礼儀を重んじる心の育成を目指す。

爽やかな挨拶で身近な人たちと心を温め合える環境を守る～挨拶はいつでもどこでも誰とでも～

### (1) 生活指導統一基準に基づく規律正しい高校生活の定着

- ア 学習環境の整備
- イ 美化活動の推進
- ウ 保護者と連携した組織的な遅刻予防策
- エ 生活習慣確立のための就業指導の推進
- オ 挨拶の励行と円滑な人間関係づくりの醸成
- カ 東京都統一体力テストの円滑な実施、テスト結果を活用した体力の向上

### (2) 安心・安全な学校づくり

- ア 体罰の禁止・根絶
- イ いじめの未然防止・早期発見・早期対応
- ウ SOS の出し方に関する教育の推進
- エ スクールカウンセラーの有効活用
- オ スクールサポーターや警察等外部機関との連携
- カ 健康セミナー、安全講話、セーフティ教室の実施
- キ 消防と連携した防災教育、防災活動の推進

### (3) 特別支援教育の推進

- ア 教育相談体制の整備
- イ 校内研修の充実
- ウ 「オープンフェスタ」への参加

### (4) 特別活動・部活動の充実

- ア 生徒主体の学校行事、生徒会、部活動等の実現のための支援強化
- イ 生徒会、委員会による学校運営への参画意識醸成
- ウ 公式戦・発表会・文化祭への積極的な参加
- エ 地域清掃など地域連携活動を活用したボランティアマインドの育成
- オ HP等による生徒の活動・活躍情報の発信

#### 【数値目標】

生徒が主体的に活動できる場の設定：年10回以上

学校行事参加率：90%

学校行事満足度：各行事で80%

校内美化活動への貢献度：80%

挨拶の多い学校だと感じる（生徒）：80%

1クラス1日平均遅刻者数：1人未満

## 3 進路指導

進路指導部、学年、各教科が緊密な連携の下、組織的・計画的な進路指導を実施し、自己実現に向けた資質・能力の育成を目指す。

### (1) 組織的なキャリア教育の充実

- ア 地域企業と連携したインターンシップの充実（1～3年）
- イ キャリアガイダンス、講演会の充実
- ウ 資格取得のための講習の充実
- エ 全教員による面接指導の実施など進路活動支援策の充実
- オ ハローワークと連携した求職活動の支援

【数値目標】

- インターンシップ：1～3年生、年間2回（1年生のみ1回）
- 就労支援：10回以上実施
- 4年生の進路実現率：100%

4 学校経営

生徒の意欲を引出す『面倒見のよい学校』を目指して、工業高校としての魅力づくりを推進する。

(1) 主体的・対話的で深い仕事の推進

- ア ビジネスコミュニケーションの充実
- イ ボトム・アップ、ミドル・アップダウンの組織文化の醸成
- ウ 前例にとらわれない挑戦的・革新的な仕事への取組み推進
- エ 授業力向上のための研修、相互授業参観等の充実
- オ より効率的でミスを防ぐ業務執行をめざした組織体制の構築

(2) 行政感覚を生かした学校運営の推進

- ア 予算の適正な執行管理
- イ 丁寧できめ細やかな窓口対応
- ウ 経営企画室と職員室の連携強化
- エ 個人情報適切な管理の徹底

(3) 社会に開かれた学校づくり

- ア 実習などで作り上げた生徒作品を発表する場をより多く設定
- イ 本工新聞発行、HP更新等情報提供活動の充実
- ウ 公開講座の開講等により工業高校の魅力を地域・保護者へ発信
- エ 葛飾区産業フェアへの参加等、地域貢献活動の推進
- オ 中学生及びその保護者への広報活動の充実

(4) ライフ・ワーク・バランスの充実

- ～教職員が楽しみながら仕事に向き合える雰囲気づくり～
- ア 年間15日以上 of 休暇取得奨励
- イ すべての職員の育児休業取得奨励
- ウ 話し合い、笑い合い、励まし合い、感謝し合える職場づくりの推進

【数値目標】

- 生徒、保護者 本工に入学して良かった：90%
- 地域 本工の生徒は楽しそうに学校に通っている：80%
- 教職員 HPや作品発表・展示などによる生徒活動の情報発信：一人一発信  
充実した一年を過ごした：80%